

R のインストール方法

中山厚穂(長崎大学) 横山暁(慶應義塾大学)

R は、Windows, Macintosh, Linux (Unix)などの様々な環境で利用することが可能である。Windows や Mac 版の R はインストーラーにより、非常に簡単にインストールできる。Linux についても主要なディストリビューションに対するバイナリ (パッケージにより簡単にインストール可能) が用意されている。ここでは、Windows でのインストールの手順を紹介する。

R のインストールについては、インターネット上のウェブサイト RjpWiki (<http://www.okada.jp.org/RWiki/>) に詳しく書かれており、最新版のインストールについての情報も得られる。トップページの「主な内容」中の「R のインストール」というリンクがあるので、リンク先のページを参照しながらインストールを行う。Wiki というシステムに慣れていないと RjpWiki からの R のインストールは少々わかりにくい構成になっている。

インストールの方法が良く分からないような場合には、Windows, Linux であれば、東海大学の山本先生のウェブページ (<http://stat.sm.u-tokai.ac.jp/~yama/R/install.html>) を、Macintosh のインストールについては、群馬大学の青木先生のウェブページ (<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/R/begin.html>) にインストールの方法などが詳しくまとめられているので、そちらを参照すると便利である。また、R 一般については、東海大学の山本先生のウェブページ「R-統計解析とグラフィックスの環境」 (<http://stat.sm.u-tokai.ac.jp/~yama/R/>) を参照すると良い。

R のインストールに必要なファイルはインターネットからダウンロードできる。CRAN (The Comprehensive R Archive Network)のミラーサイトのアドレス <http://cran.md.tsukuba.ac.jp/> にアクセスする。図 1 画面にアクセスできる (Firefox での画面となっているが、他のブラウザでも似たような画面となる。以降の図の画面でも Firefox を用いた場合の画面となっている)。

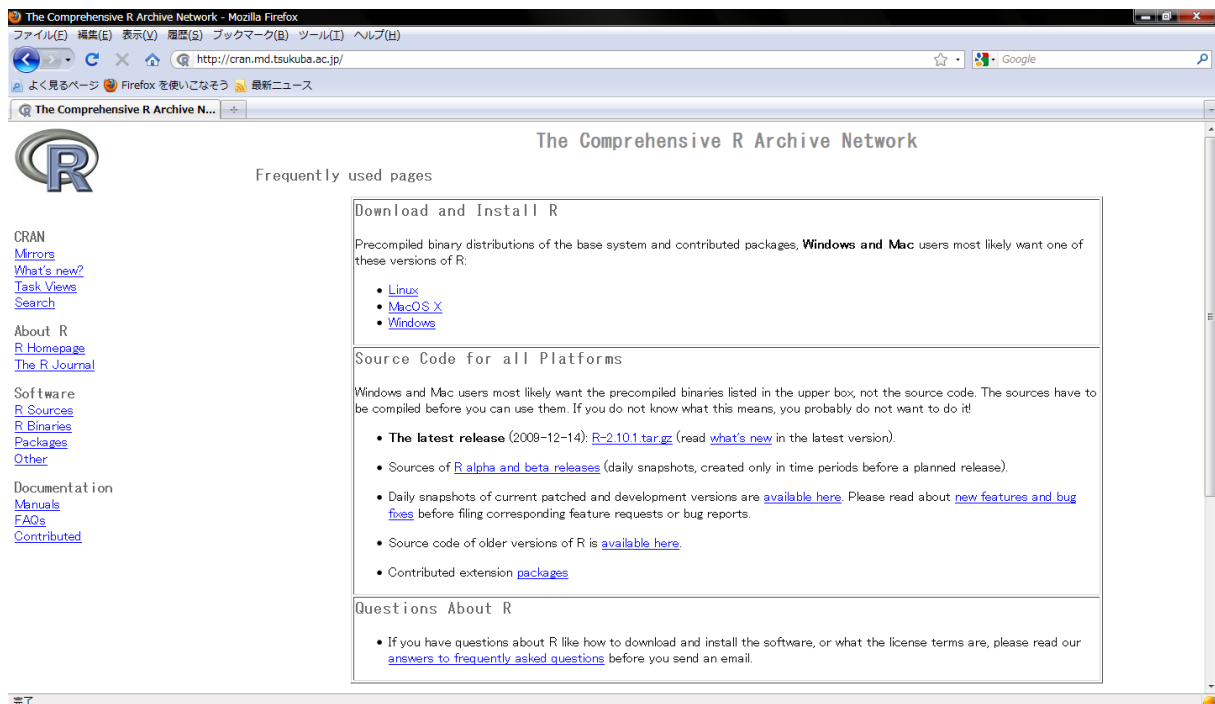


図 1 CRAN (ミラーサイト)の画面

「Download and Install R」には Linux, Mac OS X, Windows (Windows95 以降)のそれぞれの OS に対応した R ファイルへのリンクがあるので、このリンク先からインストールに必要なファイルをダウンロードする。以下では 2010 年 3 月 13 日時点で最新だったバージョン R-2.10.1 に基づいて説明する。バージョンが新しくなると、バージョン変更にあわせて画面の表示やダウンロードするファイル名などが変わるので適宜読み替える必要がある。

Windows 版をインストールするには、「Download and Install R」内の「Windows」をクリックし、<http://cran.md.tsukuba.ac.jp/bin/Windows/base/>にアクセスする(図 2)。

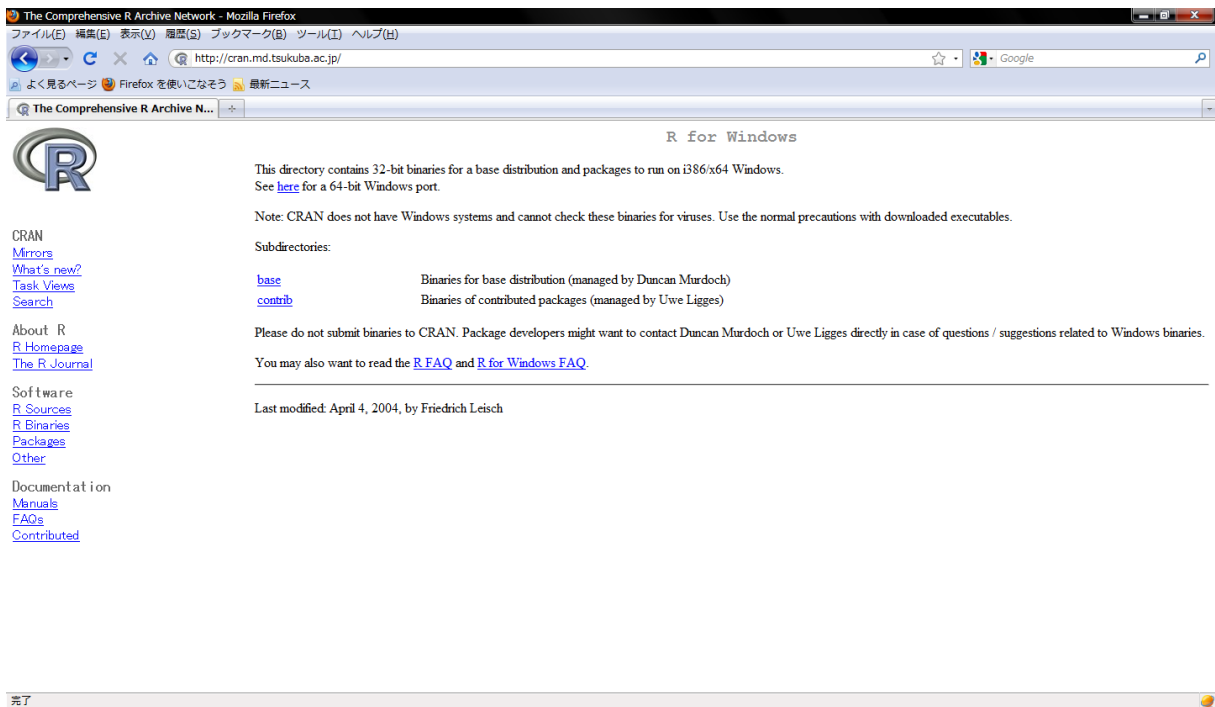


図 2 Windows 用の R をインストールするための画面

図 2 の Windows 用の R をインストールするための画面で、「Subdirectories」の「base」をクリックすると、Windows 用のバージョン R-2.10.1 をインストールするための画面に移動する (図 3)。

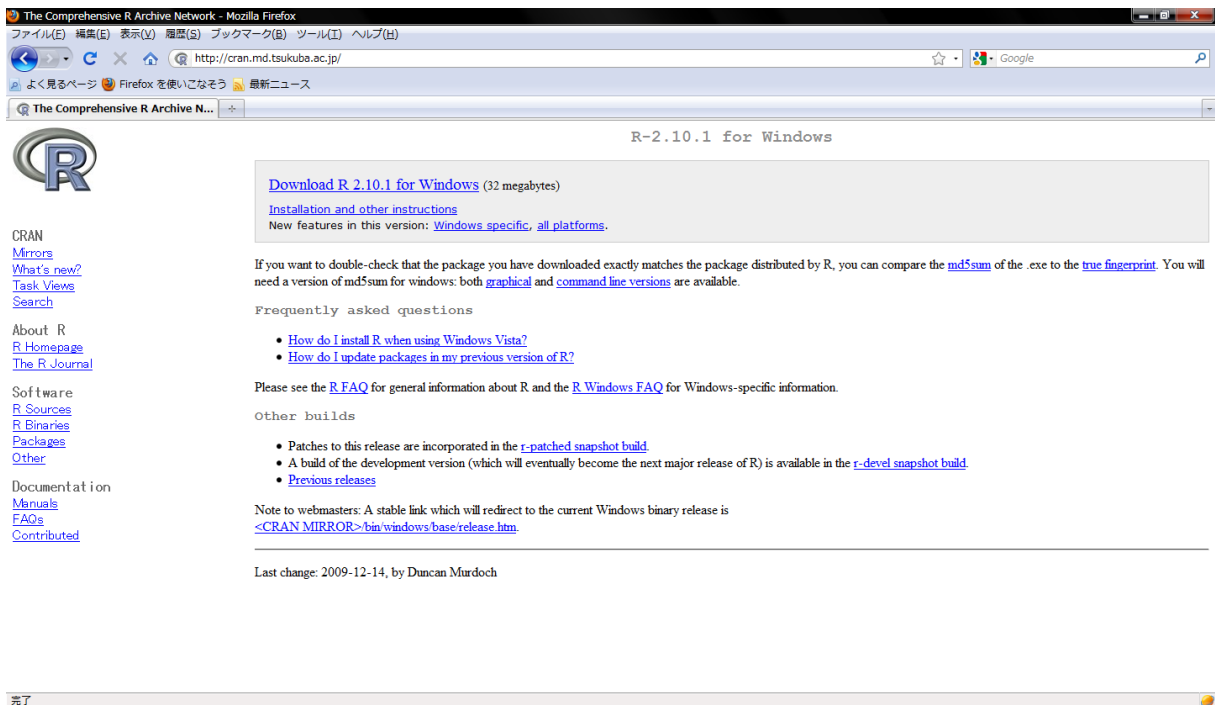


図3 Windows用のバージョンR-2.10.1をインストールするための画面

図3のWindows用のバージョンR-2.10.1をインストールするための画面の上部にある「Download R 2.10.1 for Windows」をクリックする。



図4 「R 2.10.1-win32.exe 開く」ダイアログボックス

図4「R 2.10.1-win32.exe 開く」というダイアログボックスが開くので、**ファイルを保存**を選び、適当なフォルダを保存先に指定してファイルをダウンロードする（ここでは、「Cドライブ」内の「ユーザー」の「atsuh0(ユーザー名)」の「ダウンロード」に保存）。図5のように、ダウンロード先に設定したフォルダに「R 2.10.1-win32.exe」ファイルが保存される。

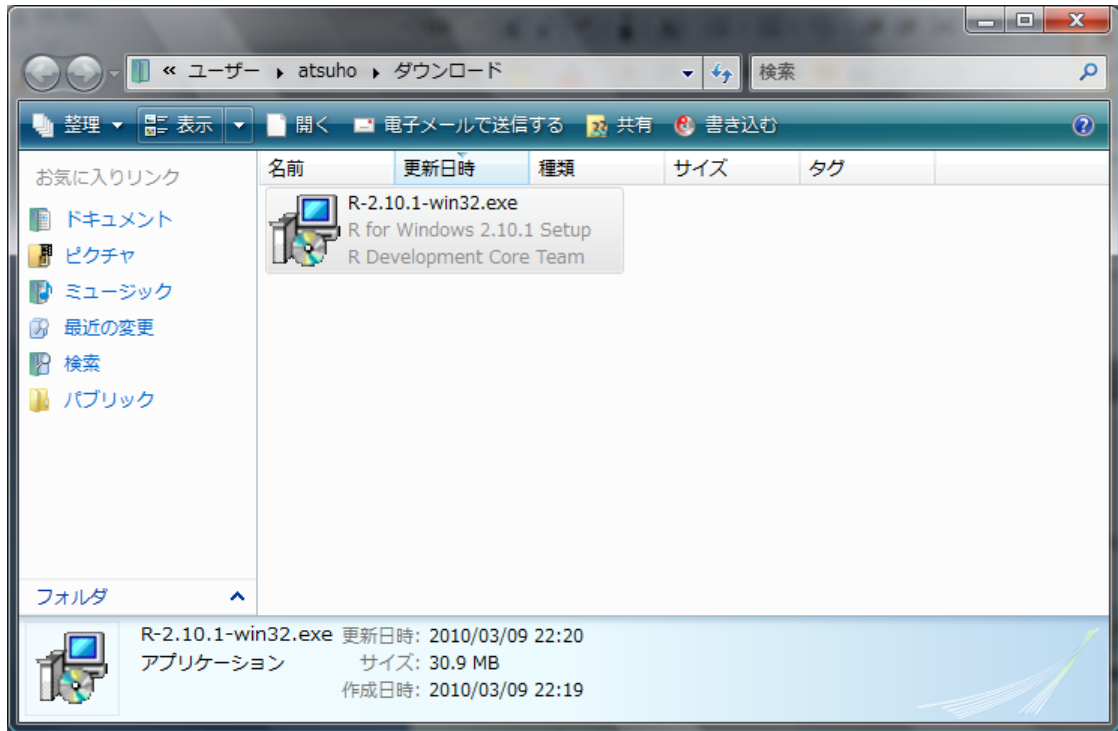


図 5 「R 2.10.1-win32.exe」ファイルの保存先フォルダ

「R 2.10.1-win32.exe」をクリックする。図 6 のように「開いているファイル-セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示され、**実行**をクリックすると、「ユーザー アカウント制御」の画面が出てくるが**許可**をクリックする。



図 2.6 開いているファイル-セキュリティの警告

許可をクリックすると、「セットアップに使用する言語を選んでください」と指示が出るので、「Japanese」を選び、**OK**をクリックする。

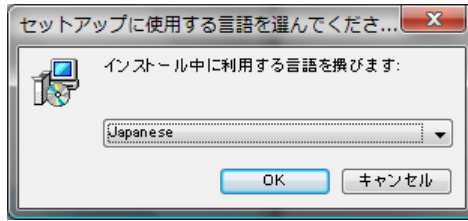


図7 セットアップに使用する言語の選択画面

図8のように「R for Windows 2.10.1 セットアップ」ダイアログボックスが開き、「R for Windows 2.10.1 セットアップウィザードの開始」画面が表示されるので、**次へ**をクリックする。

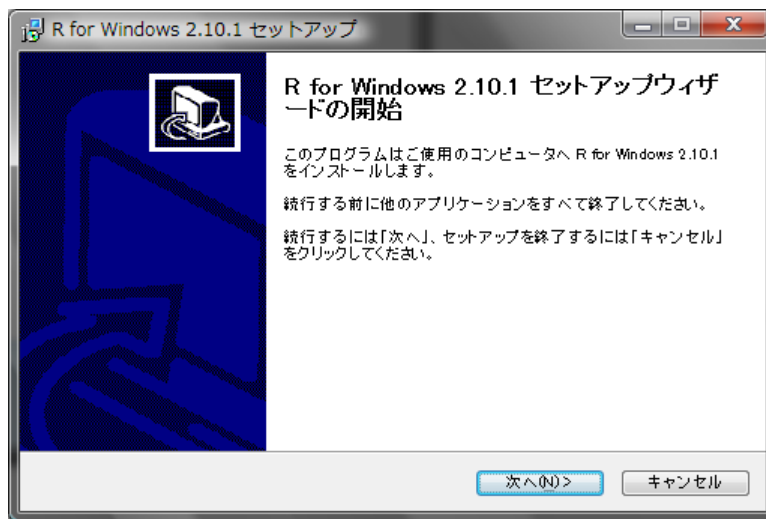


図28 R for Windows 2.10.1 セットアップウィザードの開始画面

「GNU GENERAL PUBLIC LICENSE」についての情報が表示されるので、内容を確認して、**次へ**をクリックする (図9)。

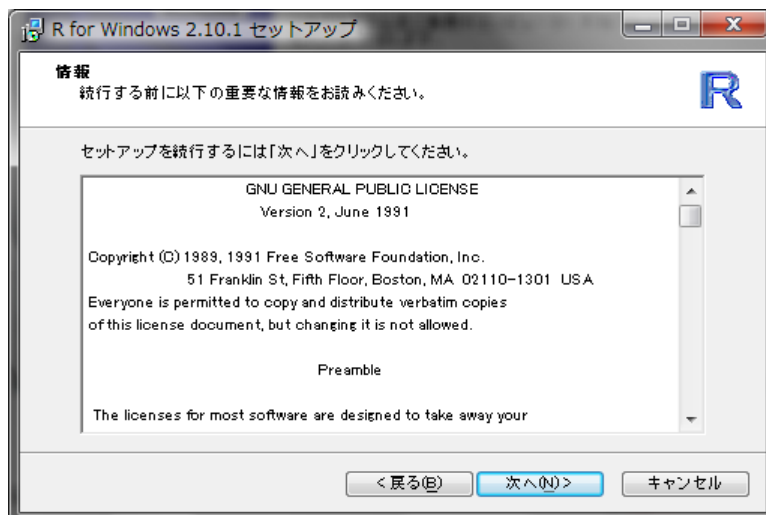


図9 GNU GENERAL PUBLIC LICENSE についての情報の画面

「インストール先の指定」する画面が開かれる (図10)。「参照」をクリックするとインストー

ル先のフォルダを変更できる。特に変更する必要がなければ、**次へ**をクリックする。

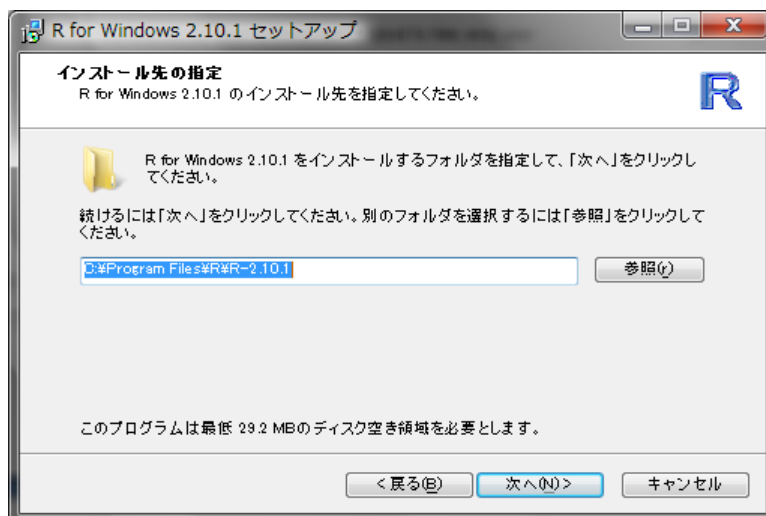


図 10 インストール先の指定

次に、「コンポーネントの選択」画面が開かれるので、「カスタムインストール」で「Message Translations」にチェックが入っていることを確認し、**次へ**をクリックする。続いて、起動時オプションの選択になるが、「いいえ (デフォルトのまま)」を選択して、**次へ**をクリックする。そして、プログラムグループの指定となるが、そのままよければ**次へ**をクリックする。最後に、追加タスクの選択となる。必要な追加タスクがあるときは、チェックボックスにチェックを入れて選択する。必要な設定は以上である。「次へ」をクリックするとインストールが開始される (図 11)。

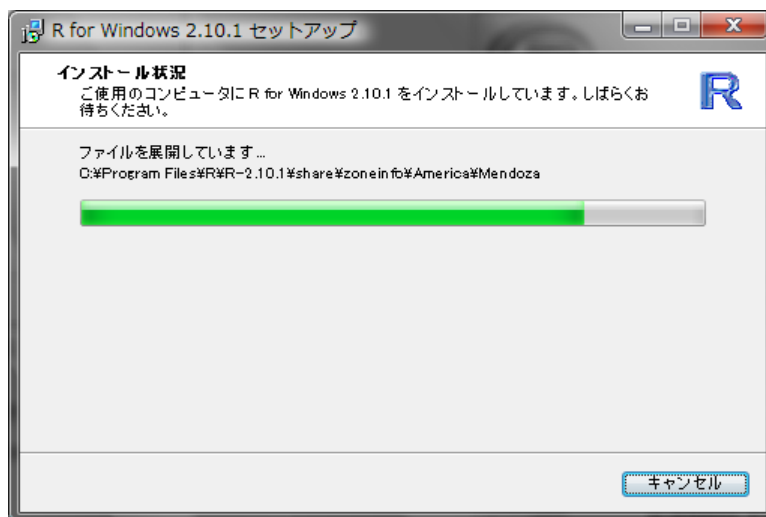


図 11 インストール状況

インストールが終了すると、図 12 の画面が表示されるので、**完了**をクリックしてセットアップウィザードを完了する。Windows 用の R のインストール手順は以上である。

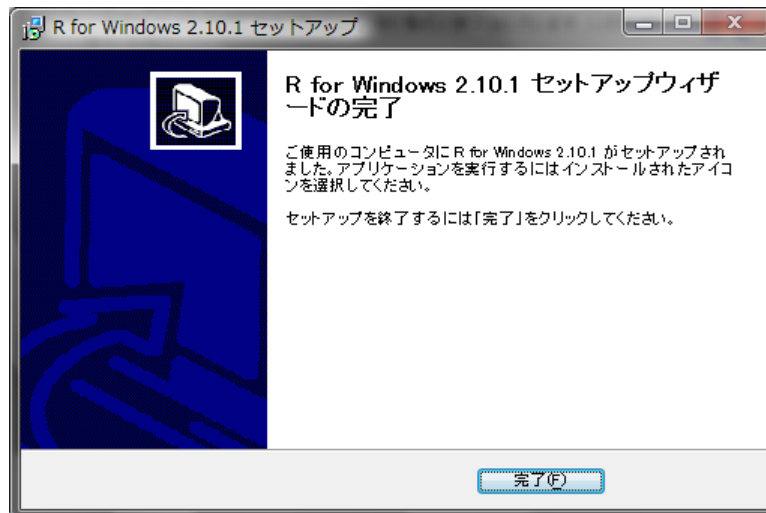


図 12 R for Windows セットアップウィザードの完了画面

ここでは、Windows についてのインストールの方法を紹介した。これ以降も基本的に Windows 版 (Windows 版 R-2.10.1) での使用を想定して解説を行います。Windows と Mac では文字コードの違いなどにより、日本語を含む外部データの読み込みが Windows では上手くいくのに、Mac ではうまくいかないことがある。Mac や Linux で作業をした場合に、本書に書かれている通りに実行してもうまくいかないということにも注意が必要である。